

2023年1月26日

株式会社北陸銀行

農林中央金庫

株式会社日本政策金融公庫

砺波市のチューリップ生産農家が、国内最大規模の出荷量300万本 を目標に、切り花加工施設を増強しました。

～北陸銀行・農林中央金庫・日本公庫が連携して融資～

北陸銀行と日本政策金融公庫（略称：日本公庫）富山支店農林水産事業（受託金融機関：農林中央金庫富山支店）は、砺波市の株式会社センティア（代表取締役：伊藤仁嗣）による切り花加工施設の増強にあたり協調して融資しましたのでお知らせします。

○県内最大の出荷量を誇るチューリップ生産農家

株式会社センティアは、砺波市にて、稲作及びチューリップの球根栽培を行う会社として、2008年に設立した農業法人です。

設立後、徐々にチューリップの切り花製造・販売にも活路を見出し始め、球根農家として開拓してきた高品質かつ厳選した球根の調達ルートや、熟練した温度管理技術力を活かし、出荷量200万本のチューリップ生産農家としての地位を築いてきました。

○最先端の切り花加工施設の特徴

今回整備する施設のキーワードは「自動化」です。栽培ハウス、球根保管用の冷蔵庫及び切り花加工用の機械を追加することで、収穫及び出荷において、更なる施設の増強を図ります。

収穫においては、従業員の作業負担軽減や効率化を重視しています。当社では、連作障害を防ぐため、チューリップを畑の土壤では栽培せず、土の入れ替えが可能な複数のボックスに分けて栽培しています。当施設においては、収穫の適期になり、従業員が摘み取り作業を行う際、ボックスを呼び出すと、自動で手元に移動していく仕組みになっています。この仕組みにより、従業員の移動を最小限に抑えることができ、作業負担軽減や効率化を実現します。

また出荷においては、切り花の花弁のまとまりや、均一な茎の長さなどの美しさを重視しています。当施設では、スキャナーシステムを利用し、大量のチューリップを短時間で正確に、自動で検品することができます。この工程を経て、切り花が綺麗に揃った花束となり、買い手の目を惹きつけるのです。

○施設増強により、出荷量 300 万本を目指す

当社の出荷する切り花の美しさは評判高く、これまで砺波市のチューリップの全国ブランド化に貢献してきました。

今後は当施設を利用し、現在の 1.5 倍であり、国内最大規模となる出荷量 300 万本を目標に生産を行う予定です。

これからも、経営理念である「世の中に花好きな人を増やすこと」「気軽に花を手に取ってもらい気軽に飾ってもらうこと」に基づき、全国に砺波市のチューリップを発信していきます。

○北陸銀行・農林中央金庫・日本公庫が連携して融資支援

北陸銀行、農林中央金庫及び日本公庫は、当社の事業性や将来性に対する熱意を高く評価しています。今回の事業については、各金融機関が事業計画についてのアドバイスを行い、「事業再構築補助金」の残額について、事業開始までのつなぎ資金を含めて協調して融資する等、連携して支援してきました。

北陸銀行、農林中央金庫及び日本公庫は、今後も連携・協力しながら地域活性化に向けた取り組みを積極的に支援してまいります。

【支援先の概要】

名 称	株式会社 センティア
設 立	2008 年 9 月 9 日
業 種	施設花き栽培
代表者	伊藤 仁嗣 代表取締役
融資額	非公表



(本件に関するお問い合わせ先)

株式会社北陸銀行 砺波支店 TEL 0763-32-3011

農林中央金庫富山支店 TEL 076-445-2508

〒930-0006 富山県富山市新総曲輪2-21 富山県農協会館2階

日本政策金融公庫富山支店農林水産事業 TEL 076-441-8411

〒930-0004 富山市桜橋通り2-25 富山第一生命ビル2階